

令和2年度学校評価の公表

北九州市立槻田中学校
校長 永田和之

1 はじめに

本年度は、まさに新型コロナウイルス感染症との戦いでありました。そのために当初予定していました教育活動も縮小や変更を余儀なくされました。また、学校への来訪者も制限され、学校関係者評価委員会も行えず、評価委員の皆様には学校行事へのお誘いもできませんでした。そこで、本年度実施した本校の教育活動を紙面にての報告とし、本年度の学校評価は内部評価のみとしました。本年度1年間の本校の取組をここに報告します。

2 令和2年度の教育活動の記録

- 4月 ○ 1日 辞令交付式
○ 6日 着任式・始業式
○ 7日～5月17日 **新型コロナウイルス感染拡大に伴う非常事態宣言発令中により臨時休校**
○ 8日 新入生入学式の手続き（保護者のみ）
- 5月 ○ 18日～分散登校開始 3年
○ 19日 2年分散登校
○ 20日 1年分散登校
○ 21日～22日 臨時休校
○ 25日～一斉登校開始（午前のみ）
- 6月 ○ 5日 分散登校開始（終日）
○ 19日 一斉登校開始（午前のみ）
○ 19日 3年進路説明会
○ 24日～ 給食開始
部活動発足（2・3年のみ）
○ 29日～ 一斉登校開始（終日・45分授業）
- 7月 ○ 3日 通常登校開始＜本年度に限り2学期制となる＞
3年学力診断テスト
○ 9日 部活動発足（1年）
○ 10日 大雨により臨時休校
○ 20日～ 5時間授業・弁当持参＜夏季休業期間短縮中＞
○ 28日～31日 3年保護者会
- 8月 ○ 4日 ひまわり学習塾開級式
○ 5日 前期期間中断、放送集会

- 6日～16日 夏季休業期間
 - 17日～ 前期授業再開（5時間）、放送集会
 - 19日～21日 身体測定3年⇒1年
 - 28日～ 生徒健康診断開始、3年内科健診
 - 29日 通常6時間授業再開
- 9月
- 1日 シェイクアウト訓練
～4日 歯科検診3年⇒1年
 - 7日 台風10号の影響により臨時休校
 - 9日 心電図
 - 16日～18日 第1回定期考査
 - 23日 2年内科健診
 - 24日 2年スクールカウンセラーによる授業
 - 25日 1年内科健診
- 10月
- 5日 3年学力診断テスト
 - 8日 眼科健診
 - 9日 生徒会改選・立会演説会
 - 13日～16日 前期保護者会
文化学習発表展示＜文化発表会の代替＞
 - 16日 前期修了式（放送集会）・・・令和2年度限定で2学期制実施
 - 19日 後期始業式（放送集会）
 - 22日～ 耳鼻科健診
 - 23日 1年社会見学（門司レトロ地区周辺）
2年地域清掃
3年修学旅行（太宰府・竈門神社・マリンワールド）
 - 26日～29日 朝読書週間
 - 30日 校内スポーツ大会＜体育大会代替＞
- 11月
- 2日 2年社会見学
 - 3日 3年学力診断テスト
 - 5日 タブレット搬入
 - 11日 3年高校説明会
 - 18日～25日 質問教室実施
 - 26日～27日 第2回定期考査
 - 30日～12月4日 朝読書週間
- 12月
- 7日～11日 教育相談週間
 - 9日 1・2年北九州市学力状況調査
 - 17日 校内推薦委員会
 - 18日～23日 3年保護者会

- 22日～25日 2年思春期教室
5時間授業の実施<冬季休業期間短縮による措置>
- 23日 1年思春期教室
- 24日 臨時推薦委員会
- 25日 後期期間中断、放送集会
- 26日～1月4日 冬季休業期間

- 1月 ○ 4日 仕事始め
- 5日 後期授業再開、放送集会
- 6日 3年学力診断テスト
- 7日 調査書作成委員会
- 8日 大雪のため臨時休校
- 12日～ 給食再開
- 21日 私立高校・専修推薦入試
- 25日 私立高校推薦発表
- 28日 公立推薦入試調査書作成委員会
- 27日～2月3日 朝読書週間

- 2月 ○ 2日～4日 私立高校一般入試
- 5日 入学説明会（保護者のみ対象）
- 9日 公立高校推薦入試（10日は指定校のみ）
- 10日・12日 3年保護者会
- 16日 公立推薦内定発表
- 18日 公立高校調査書作成委員会
- 21日 高専一般入試
- 24日～26日 第3回定期考査（3日間）

- 3月 ○ 1日 高専一般合格発表
- 1日～5日 1・2年教育相談週間
- 4日 3年立つ鳥行動
- 8日 3年給食最終日
- 10日 公立高校入試（11日指定校のみ）
- 11日 3年同窓会入会式
- 12日 第72回卒業証書授与式（3クラス男子50名、女子57名 計107名）
- 15日～24日 朝読書週間
- 16日 1年クラスマッチ
- 17日 2年クラスマッチ
- 18日 公立高校合格発表
- 24日 修了式・離任式

3 本年度、変更・縮小して実施した活動

- ・体育大会 ⇒ 代替スポーツ大会の実施<平日午前中のみで、クラス対抗>
- ・文化発表会 ⇒ 代替文化作品展示発表
- ・宿泊行事（全学年、日帰りで実施）
修学旅行 ⇒ 太宰府方面・マリンワールド
ふれあい合宿⇒ 門司レトロ周辺
農村民泊 ⇒ いのちの旅博物館・北九州市美術館分館等)
- ・性教育（思春期教室）講習 ⇒ 時間を短縮して、1・2学年実施

4 本年度中止した行事等

- ・入学式 ⇒ 保護者のみ来校により手続き等
- ・講師招聘の予定の非行防止教室、暴力追放教室、薬物乱用防止教室、
携帯電話講習 ⇒ 学級活動、学年集会で教師による指導
- ・合唱コンクール
- ・百人一首大会
- ・校内もちつき大会
- ・吹奏楽部による地域での演奏

5 学校で行った感染症対策

- ・三密回避行動、こまめな手洗い、マスク着用の徹底
- ・毎朝の健康チェック、検温
- ・各教室に消毒液設置、来客用消毒器（足踏み式）設置
- ・教室机、特別教室机にシールド設置
- ・ソーシャルディスタンスマーク設置
- ・教室内の定期的な換気
- ・全校集会を放送集会に変更実施
- ・各教室に加湿式空気清浄機設置
- ・給食時の会話厳禁
- ・給食配膳係生徒のエプロン等貸し出し禁止（マイエプロンの使用）
- ・毎日午前午後2回の学校内消毒、トイレ清掃のための業務員の配置
- ・清掃用具の変更

6 学校評価アンケート結果

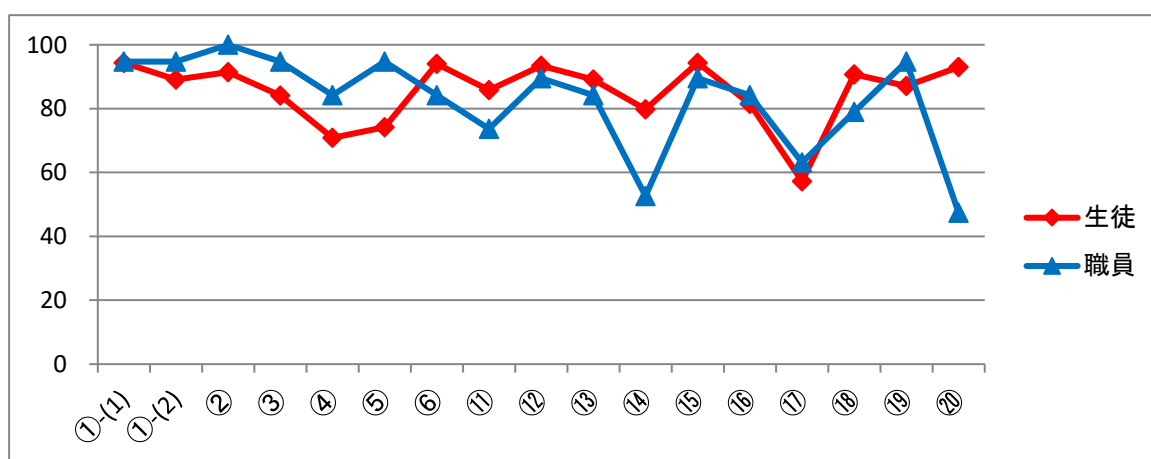
本年度、評価項目について、校内学力体力向上委員会にて検討し、全国学力状況調査における質問に準ずるよう一部質問項目を変更しました。変更して実施した結果、前年までとの比較ができなくなった関係で、本年の状況のみを記載します。また、本年度、全国学力状況調査が中止になり、残念ながら全国との比較もできなくなりました。したがって、単年度のみデータとなります。

評価の方法として、各項目で、①あてはまる ②まあまああてはまる ③あまりあてはまらない ④あてはまらない の4段階で評価させ、その内①②の評価を合計してあてはまるとして、数値化し、比較グラフに表している。

○評価項目

1-1	自分から積極的にあいさつをしている。
1-2	先生たちは積極的にあいさつをしている。
2	楽しく学校生活を送れていると思う。
3	生徒会活動や学級の係活動に積極的に参加している。
4	自分に良いところがあると思う。
5	将来の夢や目標を持っている。
6	人の役に立つ人間になりたいと思っている。
7	毎日朝食を食べている。
8	睡眠時間を十分に取っている。
9	家庭では、運動やスポーツを積極的に行うことを勧められている。
10	家庭学習に自主的・計画的に取り組んでいる。(1日、1時間以上)
11	学校は、生徒の家庭学習をサポートしている。
12	先生から、学習の評価方法について、詳しく説明されている。
13	授業では、先生から示される課題や、自分たち(学級やグループ等)で立てた課題に対して、自ら考え、自ら取り組んでいる。
14	授業では、生徒間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
15	授業の中で目標(めあて・ねらい)を示されている。
16	授業の最後では、全体で授業のまとめが、よく行われている。
17	授業の最後に、個人個人で学習内容を振り返る活動を、よく行っている。
18	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれる。
19	学校は、いじめのない学校づくりのために努力している。
20	学校便りや学級通信その他の通信類で、学校の様子がよくわかる。

○ 生徒と教師の比較



○ 結果の考察

・⑭の項目「授業では、生徒間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」について、教員の評価が低いのは、本年度、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、机にシールドをつけ、生徒に声を極力出さないように授業を進めたこと、また、長期休業の影響で、全教科で、教育課程の進行を最優先に進めたことにより、話し合い活動は十分に行

えなかったことに起因している。しかし、11月以降、教科ごとに順調になった教科より、教科の特性に合わせて、話し合い活動を取り入れるようにした。この項目は、来年度より始まる新学習指導要領の重要ポイントであり、また、本校では3年間にわたり研修を深めてきたこともあり、来年度は今年度同様のポイントは許されないと考えている。

・⑳の項目「学校だよりや学級通信等で、学校の様子がわかる」について、教師の評価が低い。本年度、正式に通常の教育活動が始まったのが6月29日であったため、その間、ほとんど通信が出せていない。結果として、「一斉メール」でのみ、保護者に情報を伝えるツールとなった。また、㉑でも説明したように、長期休業中に失った教育課程の内容を通常に戻すために、裁量の時間等を最大限、授業時間として補充した結果、先生方に空き時間がなくなる事態が発生した。また教材研究や補助教材の作成に多くの時間を費やした。例年であれば、夏季休業中にできるものも、休みが短縮されたため、日々の業務となった。これらの事が要因として理解している。しかし、そんな中でも、担任は家庭との連携を大事にするため、通信作りに励んでいた。数字以上に頑張っていたことを記しておきたい。

・生徒は、④「自分に良いところがあると思う」⑤「将来の夢や目標をもっている」の項目が他の項目に比較して低い傾向がある。まさに、生徒の自己肯定感が低いことを表している。本校では、本年度より実施された「道徳の教科化」により道徳の授業で通年を通して、生徒個々の変革を看取ることに取り組んだ。今後の授業を通して、教師が生徒個々の変化をどう伝えるかにかかっていると考える。ただ、本年度、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、3密の回避等、新しい生活様式での学校生活となり、生徒も先生も、精神的に余裕のない状況であったことは間違いなく、その結果とみることもできる。来年度は、状況の好転を願いながら、しかし、この生徒の状況を打破するための方策を考えたい。

・㉒の授業の振り返りについては、生徒教師共に低い状況にある。これは、中学校は本来50分授業で、残りの5分を振り返りの時間としている教科が多いが、本年度は、本年限定で1単位時間45分授業として実施された結果、残り5分の確保が十分にできなかったことが理由と思われる。㉑項目と同様に、来年度の新学習指導要領では授業のポイントにも位置付けられており、生徒がこの5分が大切な時間として意識できるように、全職員で頑張っていかなければならない。

7 本年度の考察

本年度は、昨年3月から5月までの長期の臨時休校という誰も経験したことのない緊急事態となり、特に生徒にとっては、新型コロナウイルス感染症に対する恐怖であったり、学校では、授業の遅れであったり、部活動の大会が中止されたり、変則の学校生活であったりと、心の安定を保つのが大変だったと思う。その

中で、我々教職員は、生徒に元気になってもらうために、例えば、お昼の食事時間に、DJ 教頭により様々なリクエストにこたえて、曲をかけたり、様々な教育活動を工夫したりしてきた。なんとか無事に本年度が終了できそうである。残る日々で年間の振り返りを職員でしっかり行い、来年度の構想を練っていきたいと考える。

8 おわりに

令和3年度より、新学習指導要領が完全実施されます。次年度については、新学習指導要領の趣旨や要点をきちんと押さえながら、また、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、通常の教育内容を創意工夫し、全職員で取り組んで行きたいと考えています。さらに新型コロナの状況を見ながらになりますが、皆様にも、行事等参観していただけるようにご案内できればと考えています。

令和2年度、大変厳しい状況の中、ご支援、ご協力いただいた保護者の皆様に初め、地域、学校関係者評価委員の皆様へ感謝申し上げます、本年度の学校評価の公表とします。